

資源循環型地域活力向上対策事業 事業評価結果

都道府県	市町村名	事業実施主体名	事業内容	評価対象年度	事業計画目標	目標達成状況(H24)		目標達成に対する今後の見通し	評価		備考
						実績値	達成状況(%)		事業実施主体	農政局等	
秋田	大館市	秋田グループ株式会社	(2)成果拡大施設整備①バイオマス変換施設 (木質バイオマス熱利用施設(恒温乾燥養生施設))	H24	1. バイオマス利用量(木質バイオマス) 1,650(t) 2. 化石燃料削減によるCO2削減量 85.5(t) 3. 雇用人数 3人	1,710(t) 96.4(t)	103.6 112.7 66.7	1 目標バイオマス利用量は、計画作成時の平成22年度の集成材生産量6,893m3を基に、材料歩留率67.62%、木材比重0.5を加味して廃材量(t)を算出したものである。 2 平成24年度の集成材生産量は6,946m3、材料歩留率67.0%から算出される廃材量は1,710tとなり、計画比103.6%となり目標をクリアすることができた。 3 今後の集成材生産量の見込みについて木材利用促進法の後押しと震災による被災地の復興事業等も含め、今年度以降、昨年以上の受注が見込まれている。 4 雇用面では、平成24年4月に養生施設管理として2名	1 実施計画における想定される効果(地球温暖化の防止)について (1)平成22年度のA重油取扱量は17.8KL、灯油取扱量は30.4KL。これに対して木質ボイラー設置後の取扱量が、平成23年度ではA重油2.6KL(85.4%削減)、灯油8.6KL(71.7%削減)。平成24年度はA重油4.0KL(77.5%削減)、灯	事業実施主体の業績が堅調であることから、平成24年度は目標バイオマス利用量、CO2の削減目標共に達成されている状況。 雇用については平成25年度に達成された。 今後も目標達成が継続されるよう期待する。	

							<p>雇用したが年度内に目標は達成されなかった。</p> <p>しかし、平成 25 年 4 月には接着剤塗布要員として 1 名し、平成 25 年度においては目標達成している。</p>	<p>油 6.7KL(78.0%削減)となっている。</p> <p>(2)上記の結果により、CO2 の削減量は平成 23 年度が 95.5t/年、平成 24 年度が 96.4t/年となり、それぞれ実施計画の削減目標である 85.5t/年を達成された。このことから、地球温暖化の防止に寄与していると評価できる。</p>	
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

資源循環型地域活力向上対策事業 事業評価結果

都道府県	市町村名	事業実施主体名	事業内容	評価対象年度	事業計画目標	目標達成状況(H24)		目標達成に対する今後の見通し	評価		備考
						実績値	達成状況(%)		事業実施主体	農政局等	
福島	会津若松市	株式会社グリーン発電会津	(1)施設整備ア.バイオマス変換施設 (木質バイオマス利用発電施設)	H24	1. バイオマス利用量(未利用木質バイオマス) 60,000~70,000(t)/年 2. 発電量 40,500(MWh)/年 3. 雇用人数 12人	41,838(t)/(7.5ヶ月)	69.7(60,000tで計算)	平成24年度は、施設の稼働開始年度であり、7月からの稼働となった。このため7.5ヶ月(3週間は定期整備で停止)が評価対象期間となっている。 施設は、ほぼ設計どおりに稼働している一方で、初期の軽微なトラブルが想定していた回数よりも多く、事業計画での稼働日数、稼働時間より少ない傾向にある。しかし、これらの問題は何回かの改善工事を経て是正され、現在は安定して稼働しているため、予定どおりに通年稼働している。	ア 地球温暖化の防止 年度途中から事業を開始したため、1年間の削減量は評価できないが、通年稼働した際に施設が有するCO2削減性能は、ほぼ計画どおりあると考える。 イ 資源循環社会の形成 事業の核となる目的である、未利用バイオマスに関する有効利用に対して、想像以上の反響があり、材を搬出した山元では、非常に好影響が出ており、循環型社会の役に立っていると考える。 ウ 新産業の育成 今まで放置されていた山林未利用材を集材	平成24年度のバイオマス利用量及び発電量については、目標を達成されていない。これは、平成24年度の稼働期間が7.5ヶ月であったためと考え、通年稼働した場合は目標が達成される見込みがあることから、本評価時点での目標未達成に基づいた指導等の措置は講じず、今後の稼働状況の経過を観察するものとする。 また、雇用人数についてはは目標を達成されている。 今後は、本施設の通年稼働について注視することとし、目標の達成に向けて事業実施主	

								<p>働した場合、目標は達成できる見込みである。</p>	<p>するための人員が活発に活動していること。また、集材した材を運搬するためのトラック運転手など、地域に及ぼしている産業育成への影響は大きいと考える。また、本事業を中心に、会津若松市でもスマートグリッド構想など、未来の産業への取り組みがなされていることも付け加えたい。</p> <p>エ 農山漁村の活性化 本事業を参考モデルとした取組が日本全国で広がっている。</p>	<p>体と連絡を密にしている。</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	------------------------------	--	---------------------